



千葉市

地域安全ニュース

第31号

発行 千葉市防犯協会連合会
事務局 千葉市中央区都町 1-1-30
Tel 043-232-3100

平成28年新春を迎えて

千葉市防犯協会連合会
会長 石橋 邦彦



新年明けましておめでとうございます。
皆様方には、ご家族お揃いで、お健やかに新春を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。

平素は、当防犯協会連合会の運営にあたり、防犯パトロール隊、警察をはじめとする関係機関・団体・会員・そして市民の皆様の深いご理解と暖かいご支援、ご協力を賜っておりますことに、紙面をお借りしまして、改めて厚く御礼を申し上げます。

政治・経済共に激動する一年でありましたが、パリ等におけるテロ事件の報道を見聞きするたびに、「治安維持」がいかに大切であるかと身をもって感じた次第であります。

千葉市は、特に、刑法犯認知件数が、平成12年に31,421件とピークを迎えましたが以後、関係各位のご尽力により、平成26年が12,321件と14年連続で減少させることができました。

また、平成27年11月末現在で、10,578件（前年比△7.3%）と、15年連続減少が確実な状況でもあります。

一方、オレオレ詐欺等の特殊詐欺は、平成27年8月以降、県民のアンケート結果を踏まえ、被害イメージが湧く「電話 de 詐欺」という新呼称が使われています。

昨年11月末現在で本市の認知件数は、154件、前年比マイナス86件、被害額は4億5800万円、前年比マイナス約2億6,500万円であります。

抑止と検挙活動が相俟って、件数・被害額共に減少しているものの高止まりの状態、家族の信頼・絆を断ちきる悪質な犯罪である「電話 de 詐欺」が依然として横行しております。

私達ひとり一人が、「防犯意識の高揚と、我が街は我々が守る」という信念のもと、パトロール活動等を展開し、犯罪への抵抗力を高める必要があります。

当連合会といたしましても、安心・安全の千葉市を創世するため、全力を尽くす所存でありますので、引き続きのご支援を賜りますよう、お願いいたします。

結びに、市民及び会員の皆様方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ新年の挨拶といたします。

《 謹 賀 新 年 》

副会長	小川 善之	理 事	山崎 信男	理 事	宇井 正夫
〃	藤川 勇	〃	長嶋 洋二	〃	松戸 照彦
〃	大槻 勝三	〃	永田 忠以	〃	小林 範夫
〃	鈴木 金作	〃	田中 研一	〃	亀井 徹
会計監事	工藤 昂二	〃	内山 英昭	〃	降矢 利秋
〃	原田 雅男	〃	神津 守男		

千葉中央警察署管内防犯協会

千葉東警察署管内防犯協会

千葉西警察署管内防犯協会

千葉南警察署管内防犯協会

千葉北警察署管内防犯協会

年末・年始の犯罪被害ゼロを目指して

年末・年始特別警戒取締り出動式

年末年始における犯罪を抑止するため、年末年始特別警戒出動式を実施し、市民の皆様

各種犯罪被害防止と自主防犯意識の啓発と高揚を図りました。

平成27年12月17日(木)午後4時20分森田千葉県知事、熊谷千葉市長、佐藤公安委員長、黒木県警察本部長等が出席されて、中央公園において、「年末年始特別警戒取締り出動式」が行われました。その後、中央公園から通称ナンパ通りのある地区の繁華街をボランティアの方々とパトロールしました。また熊谷千葉市長、黒木本部長は富士見地区を巡回し、道行く市民の皆様にも年末年始の各種犯罪被害の防止を呼びかけました。また、京成駅前交番にも立ち寄り交番勤務員を激励しました。

今回の出動式・パトロール・防犯啓発活動には、21団体、113名の方が参加され、犯罪被害防止意識の啓発を市民に呼びかけました。



◆各地区の警戒状況

12月17日に先駆けて、千葉市内の〈千葉東・千葉西・千葉南・千葉北〉各警察署においては、12月10日(木)に「年末・年始特別警戒取締り出動式」を行い、警察署ごとの特色ある防犯啓発活動を展開して、市民の皆様にも年末年始の各種犯罪被害防止意識を図りました。管内防犯協会会員の方はじめ、多くのボランティアの方がパトロールと防犯啓発活動に従事され、防止を呼びかけました。



千葉市防犯協会連合会法人賛助会員

諏訪建設(株)〈総合建設業〉、(有)シーアンド・アール・セパレーター〈選別機械製造業〉、東テク電工(株)〈電気設備設計工業〉、(株)ピーアーク千葉〈総合レジャー業〉、(株)オーシマ〈防犯設備設置販売業〉、ノーザンミツワ(株)びっくりドンキー千葉若松店〈飲食業〉、(有)菊池工業〈左官業〉、読売センター稲毛東部〈新聞販売業〉
個人賛助会員14名

～謹賀新年・本年も宜しく願いいたします。賛助会員を募集しております。治安の向上にご協力を～